

## 解答

一

- 問一 自己紹介で、一馬という自分の名前には一番早い馬という意味があること説明し、かけっこでは誰にも負けたことがないと強く主張したから。
- 問二 沢山の玩具を見て驚く僕の様子から、自分が羨ましく思われていることに気づき、誇らしく思う気持ち。
- 問三 口げんかの仕方を知っていて、言葉では誰にも負けたことがないということ。
- 問四 相手の弱点を次から次へと攻めて、言葉の力で抑え込み、最後まで相手を追い込むと後味が悪く、恨みをもたれるから。
- 問五 相手に自分が味方であると思わせることによって、一方的に攻撃をした後味の悪さや、相手からの恨みを翌日まで持ち越さないようにするという戦略。
- 問六 明らかに一馬の味方として子供同士の問題に口をはさむ様子から、子供の一馬と同様に、その母親も負けず嫌いであるという考え。
- 問七 A 口 B 鼻
- 問八 一馬が卑怯であることは明らかなのに、周囲から非難されても自分が一番と言いつける姿にあきれかえり、むしろ感心し、そこまでできる一馬を見直すような気持ちが芽生えたから。
- 問九 家に誘われたことで、自分が自宅で泣かされたことを思い出し、相手の家では、かばってくれる母親もいないことを不安に思ったから。
- 問十 母親は常に自分の子供の味方であるはずなのに、自分の子供をしかり、他の子供をかばう僕の母親の姿が、一馬にとっては理解ができずとまどう気持ち。
- 問十一 一馬は勉強も運動も出来ているのに、クラスに馴染めず、友だちができないのは学校に問題があり、一馬を泣かせたにもかかわらず、その母親に文句をつける友だちがいるような環境は、子供にとって良くないと考えたから。
- 問十二 僕も一馬も負けず嫌いであるが、一馬を学校帰りに誘ったときのうれしそうな様子や、僕の家に来て、僕と母さんのやりとりによりきよんとする姿などには、好感が持てるところもあり、お互いに相手を認める部分があったから。

二

- ① 極限 ② 模型 ③ 拾（う） ④ 配達 ⑤ 真相 ⑥ 加減 ⑦ 灰色
- ⑧ 貨物 ⑨ 直筆 ⑩ 展覧会 ⑪ 雑誌 ⑫ 義務 ⑬ まさゆめ ⑭ むげ
- ⑮ おさなご ⑯ ころ（がる） ⑰ やはん（よわ） ⑱ たいとう ⑲ き（ばむ）
- ⑳ けんぶん

## 解説

一

- 問三 傍線③を含む段落の内容に着目します。「言葉では誰にも負けたことがない」という記述や、口げんかの具体的方法について述べられていることをおさえて説明します。
- 問十 一馬の考える母親の姿と、僕の母親の姿が異なっているところを明確にしながら、一馬がきよんとする理由について説明します。
- 問十二 二人とも負けず嫌いであることや、お互いに自分の家に誘って遊ぶ場面から、普段では見られない一面が垣間見えたことを踏まえ、僕の一馬に対する思いを読み取り説明します。